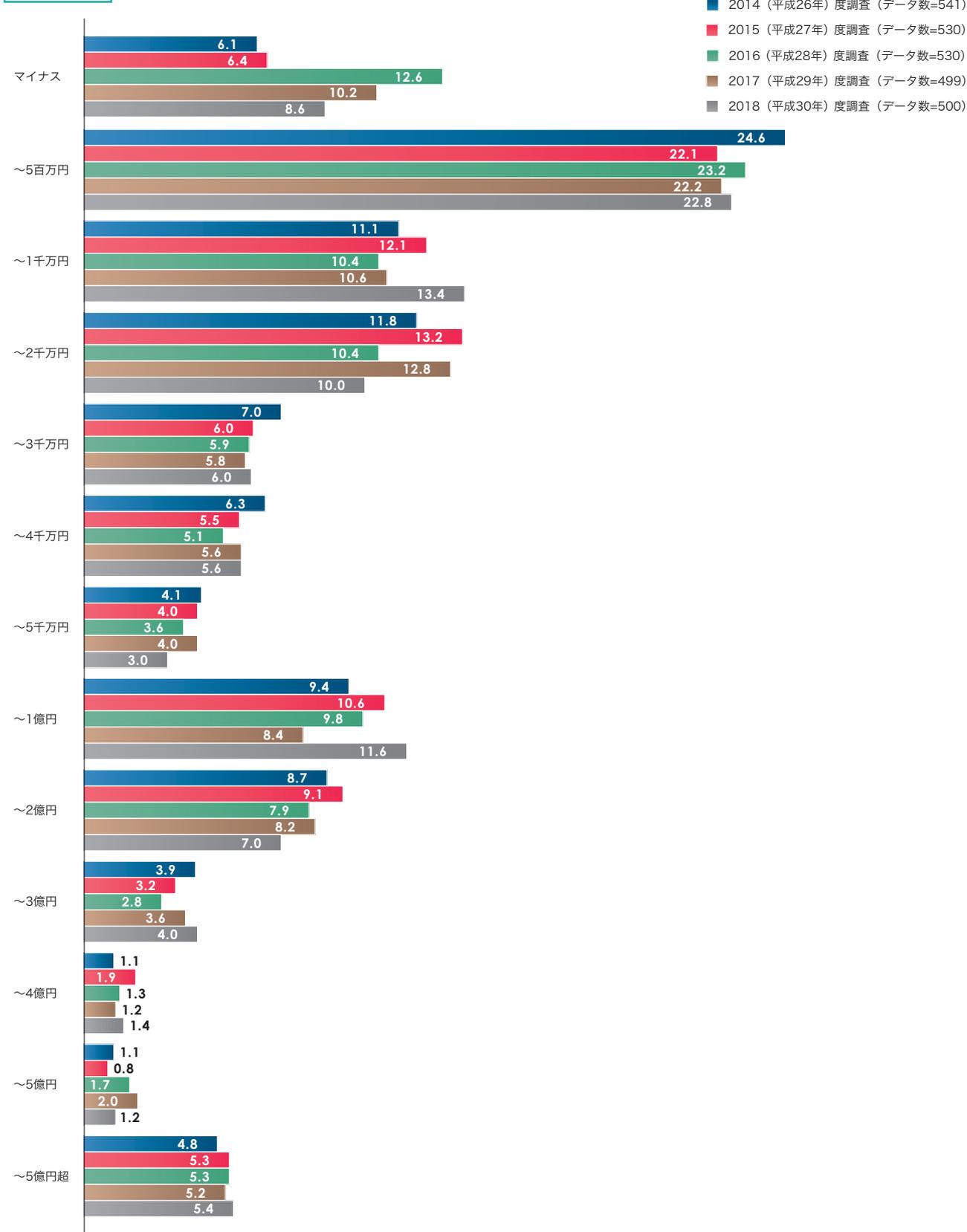


■利益

売上高と同様に補完データより2014年から2018年の5カ

年の利益金を確認したところ、5年間を通じて「500万円以下」の割合が突出して高い傾向であった。（グラフ11）

グラフ 11 利益推移 (単位: % ※補完データより)

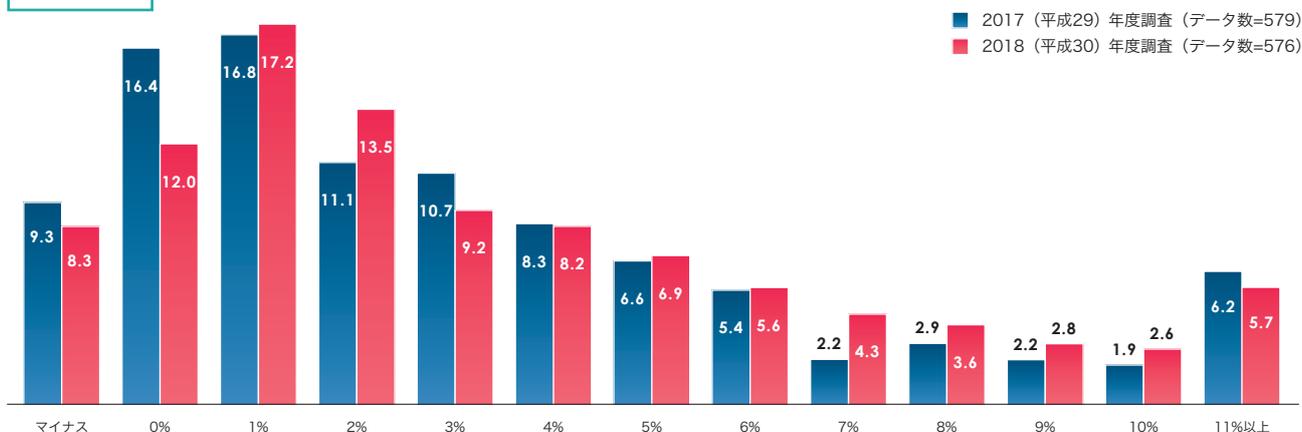


■利益の売上対比

補完データより利益を売上対比で確認したところ、昨年調査同様、「1%」（17.2%）が最も高い。

また昨年調査と比較すると「0%」が約4ポイント下がった一方、「2%」が約2ポイント上昇した。（グラフ12）

グラフ12 利益の売上対比（単位：% ※補完データより）

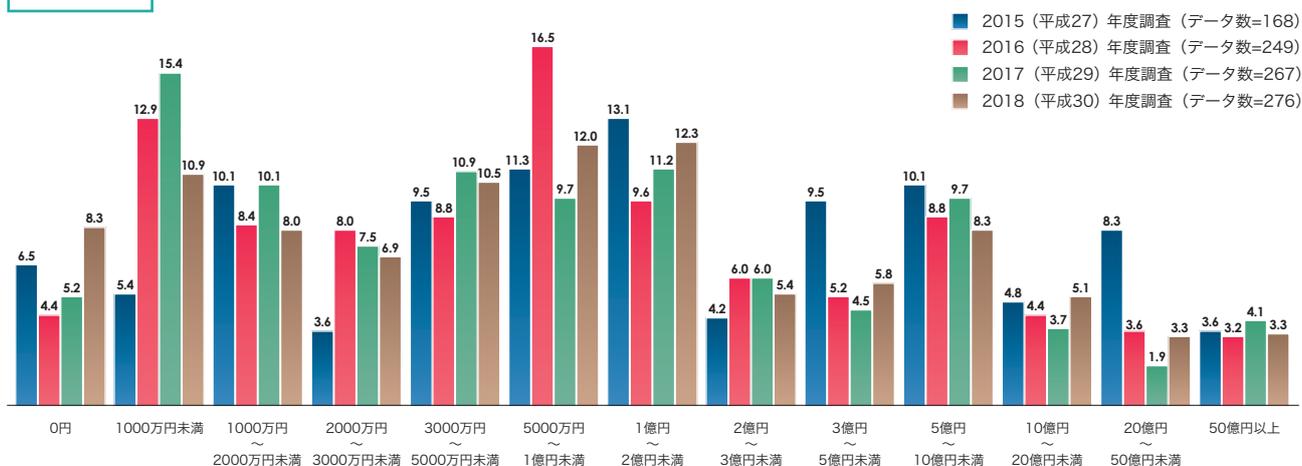


■設備投資額

本調査では、レンタル・リース物件の設備投資について確認している。

「1億円超2億円未満」（12.3%）の割合が最も高く、昨年最も高いスコアだった「1000万円未満」は10.9%と4ポイント以上減少した。（グラフ13）

グラフ13 設備投資（レンタルリース物件）（単位：% ※有回答絞り）



(3) 機材の保有状況と貸付部門売上高に占める保有機械・機材の売上高割合（中分類）

各社の建設機材について、19種類に分類した中分類ベースでの機材の保有状況<グラフ14>と貸付部門売上高に占

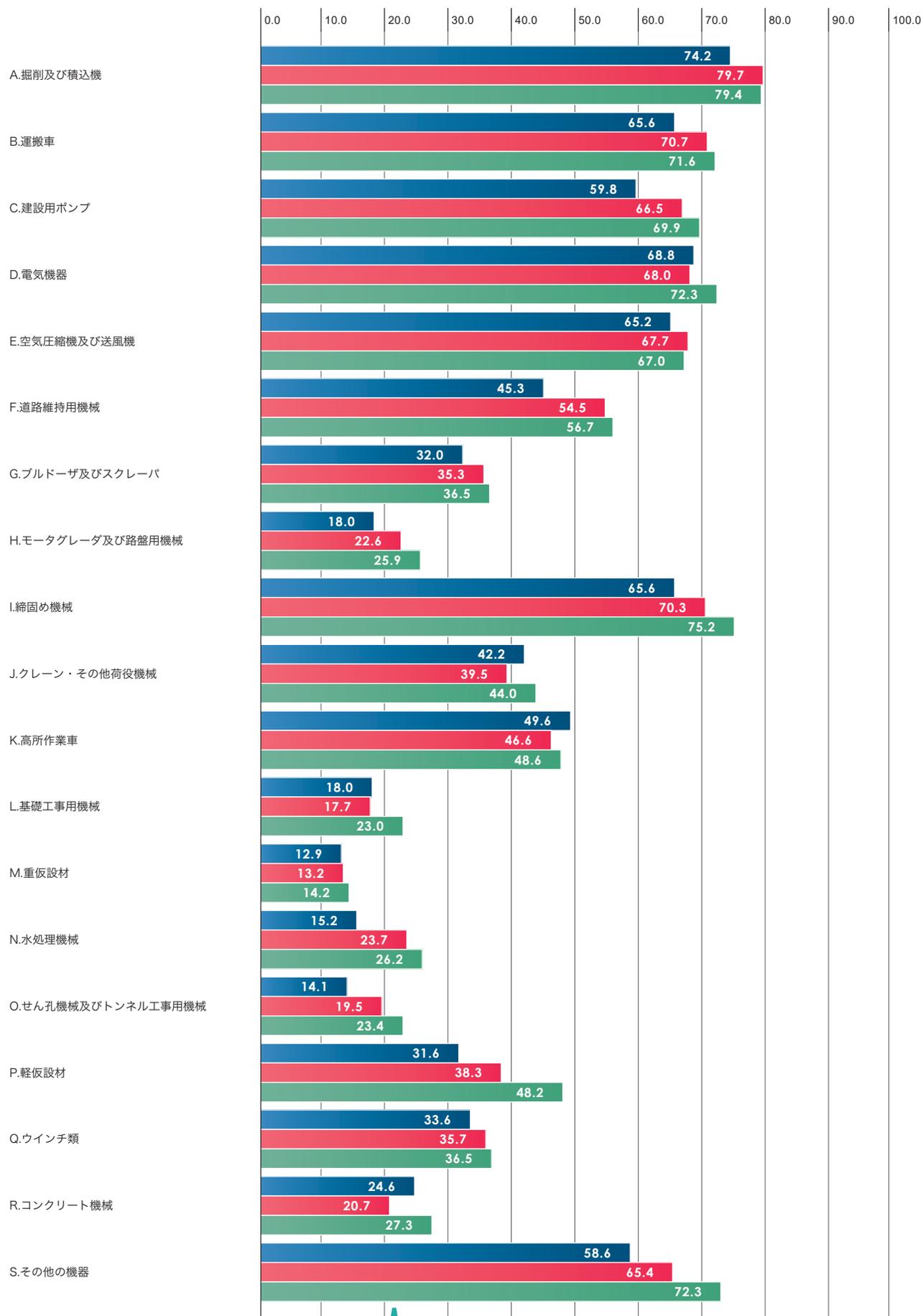
める保有機械・機材の売上高割合<グラフ15>を確認した。

保有状況<グラフ14>では「掘削及び積込機」が79.4%で昨年同様に最も多く、次いで「締固め機械」（75.2%）、「電気機器」（72.3%）、「その他の機器」（72.3%）、「運搬車」（71.6%）となった。

グラフ 14

機材の保有状況 (単位：% ※有回答絞り、複数回答)

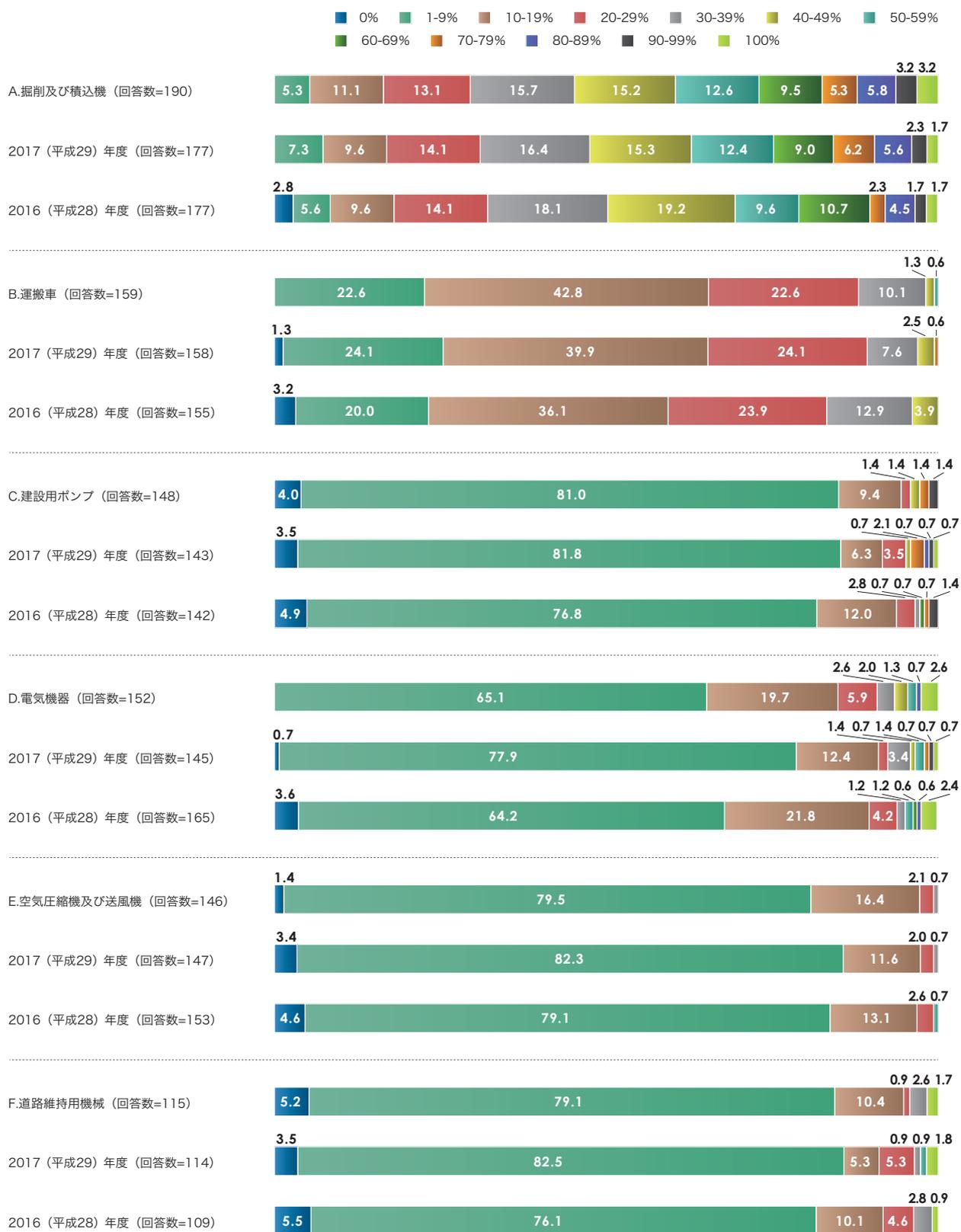
■ 2016 (平成28年) 度調査 (回答数=249) ■ 2017 (平成29年) 度調査 (回答数=266) ■ 2018 (平成30年) 度調査 (回答数=282)

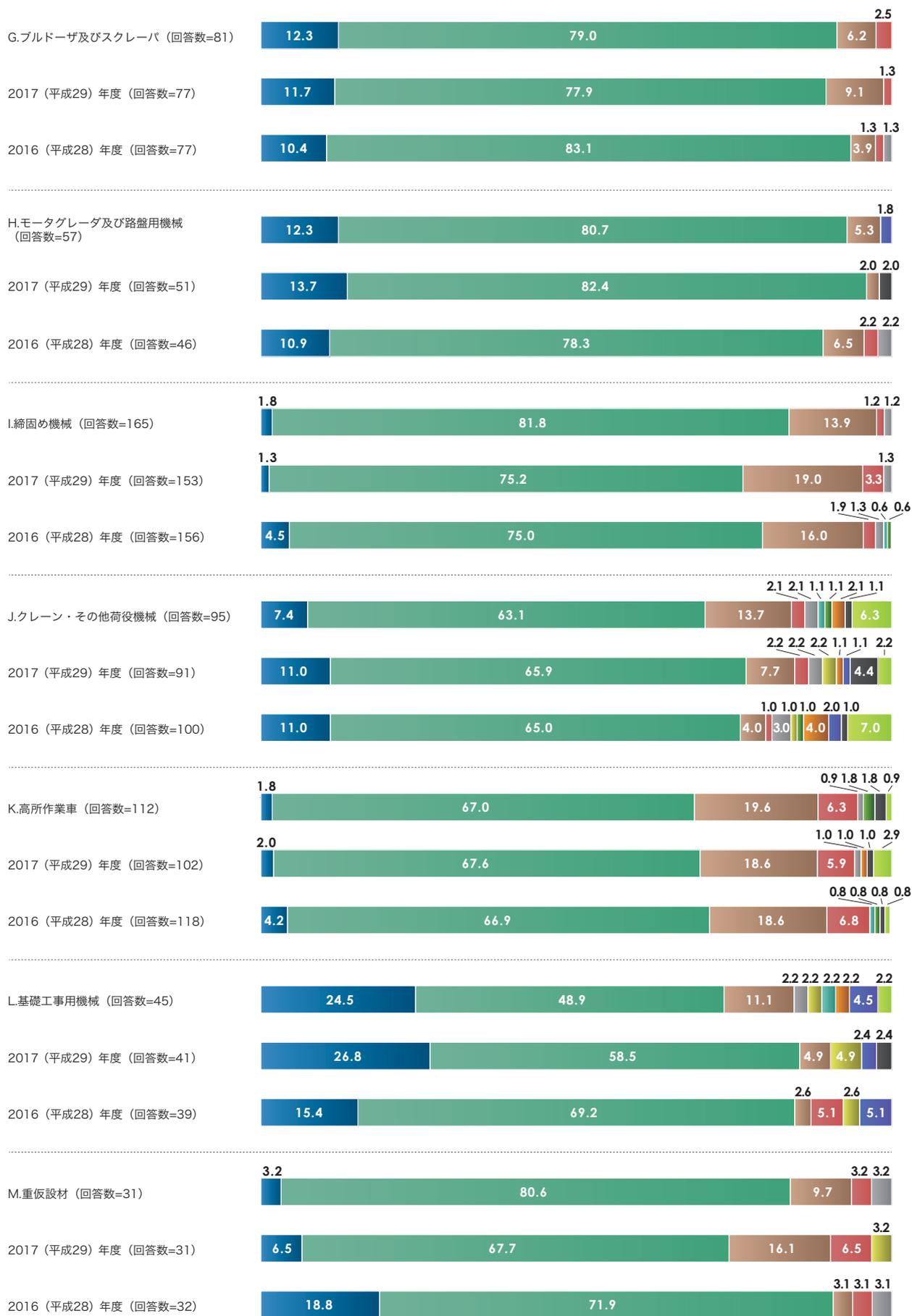


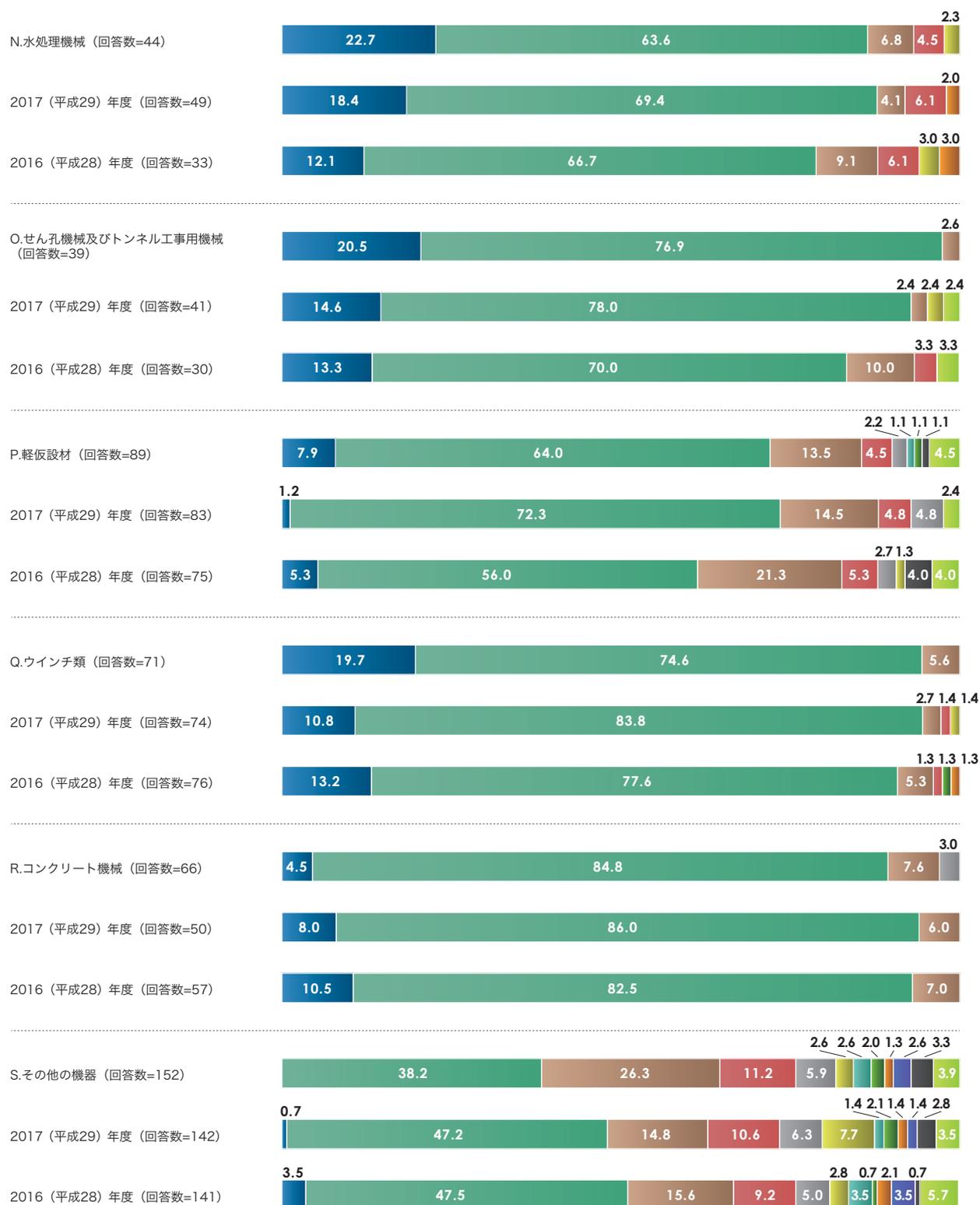
また、貸付部門売上高に占める保有機械・機材の売上高割合<グラフ15>では「掘削及び積込機」では30-39%、

「運搬車」では10-19%が最も多い結果となっているが、それ以外の機械・機材では1-9%が最も多くなっている。

グラフ 15 貸付部門売上高に占める保有機械・機材の売上高の割合 (単位：% ※有回答絞り)





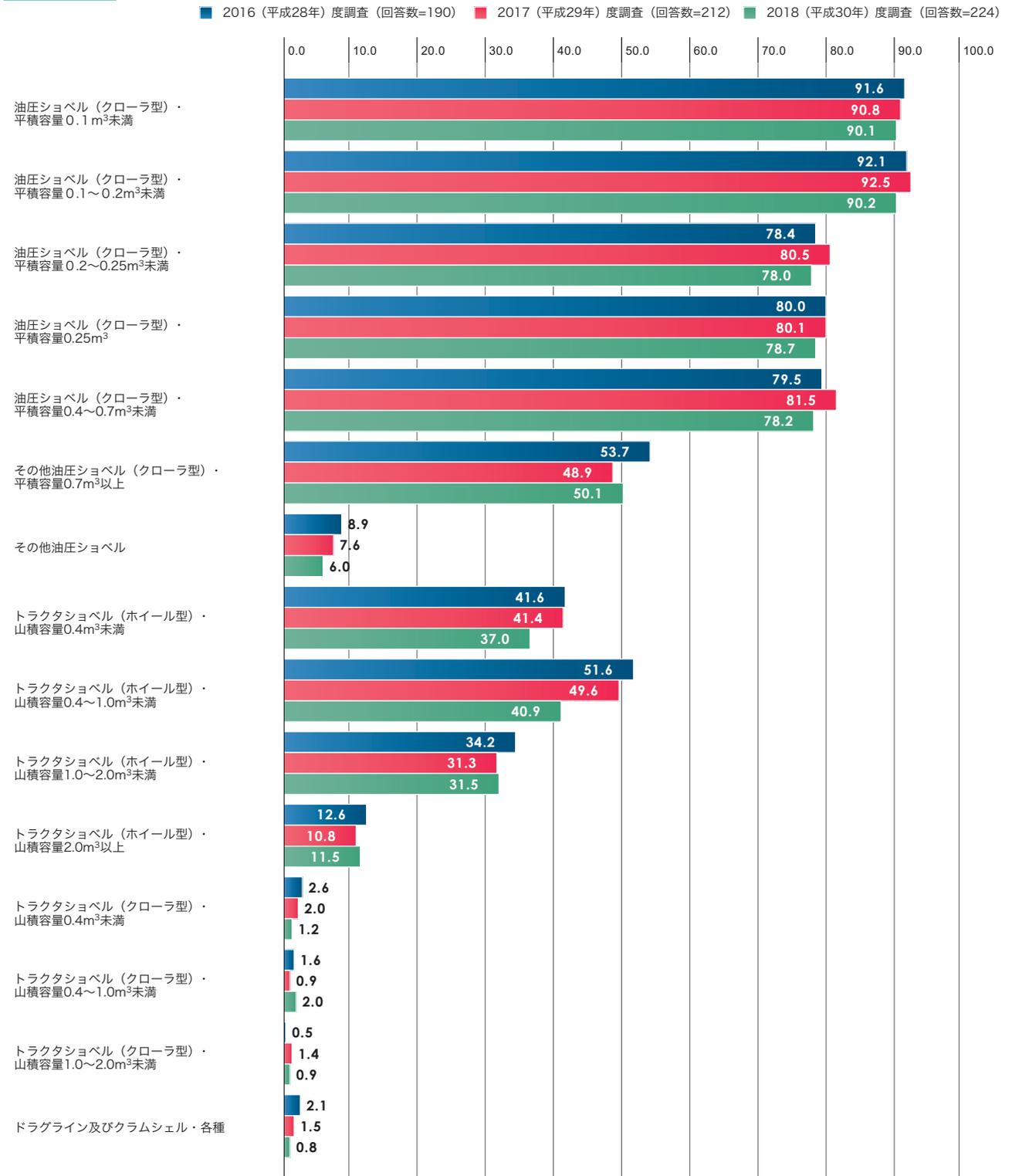


(4) 機材の保有状況（細分類）

以下は204項目の細分類の各機材の保有状況について示し

ている。あくまで保有の有無の状況であり、台数や個数について示しているものではない点に注意されたい。（グラフ16～グラフ34）

グラフ 16 A.掘削及び積込機保有状況（単位：％ ※有回答絞り、複数回答）



グラフ 17

B.運搬車保有状況 (単位: % ※有回答絞り、複数回答)

